

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



## ボランティアニュース

244号 2024年5月号



発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

### 「約4年ぶりの動物介在活動を行って」

日本盲導犬協会 神奈川訓練センター

広報 コミュニケーション部 大砂 奈月 (オレンジクラブ会員)

先日、動物介在活動 (AAA) を神奈川県立こども医療センターで行いました。

コロナ渦に入る直前の2020年2月が最終活動で、約4年ぶりの開催でした。

久々の開催ということもあり、約10名の子供たち、そして看護師さんなどたくさんの方が遊びに来てくださいました。

今回のAAAに出動したのは、日本盲導犬協会PR犬の「レオン」

実はレオン、このAAA活動に参加するのは今回が初めてでした。

「ここはどこ…?なにをすればいいの…?」普段とは違う様子に困惑の表情が少し見られましたが、子供たちに優しく褒められながらたくさん触れ合うことができとても嬉しそうでした。

遊びに来てくださった子供たちもとても楽しそうで、お手をして遊んだり、レオンの頭をやさしく撫でてくれました。

そして、盲導犬のお仕事や街中で盲導犬と出会ったときのルールについても皆さんにお話ししました。お仕事の一つ「障害物を避ける」をお話した後、実際に子供たちも盲導犬のシンボル

「ハーネス」を持って一緒に歩きました。

隣を並んで歩いて障害物を避け、また道の左端に戻ったら褒める。皆さん「グッド!」とたくさん言って撫で、レオンを褒めてくれました。

私はAAAという活動は知っていましたが、

実際に活動に参加するのは初めてでした。

レオンに笑顔で話しかける皆さんの様子を見て胸がいっぱいになり、有意義な時間を過ごせたのだと感じました。

レオンと一緒にまた皆さんにお会いできるのが楽しみです。



あいち小児保健医療総合センター「感謝のつどい&ボランティア交流会」に参加して。

オレンジクラブ副代表

病児と家族のおもちゃと遊びのボランティア シャボン玉 森智恵子

3月23日(土)、加藤ボランティアコーディネーターと共にあいち小児保健医療総合センターにて行われた「感謝の集い&ボランティア交流会」に参加しました。

あいち小児保健医療総合センターは先進的な医療を推進しながら子どもの療養環境を重視し心身の発達を促すことも考え、遊び・おもちゃ・本などを整えている小児専門総合病院です。おもちゃと遊びのシャボン玉の活動に参加している私にとって大変意義のあるイベントでした。

伊藤センター長の「子どもは子どもであってそれぞれが子どもらしい生活を送るべきでたまたま病院に来ている、と理解しているつもりだったが、ボランティアさん達の活動を知ることによって子どもらしい生活を送ることの大切さを教えてもらいました。」とのお話が心に残りました。

院内で活動しているグループと個人の方達の活動はそれぞれコロナ禍で活動自粛の時もあればオンラインで活動を始めるといった様々でした。

- ドッグセラピーCANBE はただ犬と触れ合うだけではなく動物との正しい関わり方を伝え触れ合うセラピー活動を紹介。
- ぷくぷくばーん バルーンを使った遊びのボランティアということで、全員で犬のお散歩のバルーンを作りました。オンラインでバルーン作り・読み聞かせなどの他に、子どもが作った人形を本人の代わりに旅をしてその様子を動画やオンラインで届ける「旅する人形プロジェクト」の活動をしているそうです。
- スマイリングホスピタルジャパンは神奈川子ども医療センターでの活動と同様にオンラインでの双方向の多岐にわたるアート活動を松本さんが紹介。
- Rito 参加型壁面ディスプレイ 全員で色鮮やかな色紙を使ったキットで青虫・てんとう虫・蝶を作り、壁面ディスプレイの楽しさを子供達の作品と共に紹介。
- ホスピタルクラウン 神奈川こども医療センターでも活動されている大棟さんからの「本来の子どもらしさを取り戻す活動でありいつの日かホスピタルクラウンの活動がどこの病院でも当たり前になりますように」というメッセージが印象的でした。
- 個人参加のボランティアとしての活動は病棟での遊び(ボードゲーム・色塗り等)・院内飾りつけ・おもちゃの管理等オレンジクラブと共通した内容の他に院内5ヶ所の水槽の管理を紹介。子どもも大人も癒される水槽の存在に魅了されました。
- ボランボラコの会 代表の坂上さんが「病院での活動はボランティアと病院関係者とその間を繋ぐコーディネーターも重要。活動していく中で色々な悩みが出てきますがそれぞれの病院のボランティアが横の繋がりを持ち情報交換を行い、知恵を出し合うことで活動が続けられる面があるのではないか」と話されこのような交流会の必要性を強く感じました。

その後の質疑応答でも問題解決に繋がりそうな意見も出され有意義な内容となりました。

終了後に院内を見学させていただきましたが、ワクワクするカラフルな内装とデザインに療養環境を重視する理念を感じました。

他の病院との交流する機会は少ないので貴重な経験をさせて頂き刺激を受けました。



病棟の外に有る入院児のための遊びの部屋



ボランボラコの会からの参加者 左端が森さん

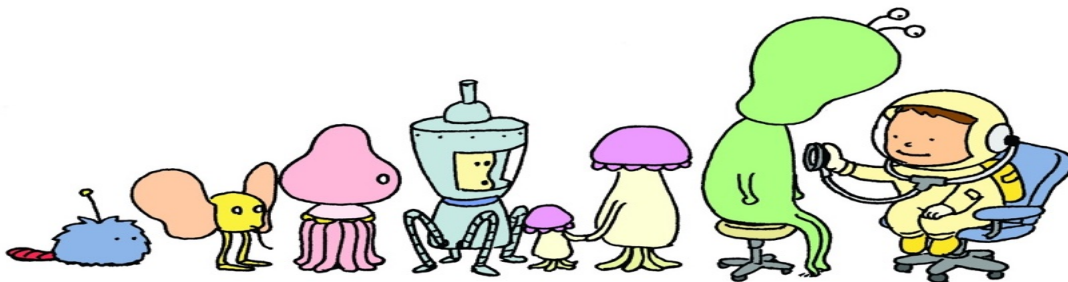
私は赤ちゃんの頃からこの病院にお世話になってもう19年目です。

これまで何回もの入院をしてきましたが、今振り返ってみると看護師さんは勿論、保育士さんやボランティアの方など、沢山の皆さまが入院生活を支えてくださいました。

私がまだ小学校低学年の時はベッドにいたのがつまらなくて、長時間プレイルームで遊んだり、病院内を散歩して過ごしていました。そういった経験からも分かるように、遊び盛りのこどもたちにとって行動に制限がかかってしまうのは辛いことだと思います。

思うように体を動かすことが出来なかったり、当たり前のように家族と会えない寂しさから、日常とは違う毎日が嫌になってしまうけど、そんな気持ちを取り除いて下さった方々のように、私も自分の経験を活かしつつ入院中のこどもたちが抱えるストレスを少しでも軽減出来たらいいなという思いからボランティアへの参加を決めました。

私は今、肢体不自由児施設の方でボランティア活動をさせていただいているのですが、私もこども達と同じ車椅子なので、少しでも身近に感じてくれたらいいなという気持ちでいつも活動しています。週1回という短い時間ですが、一緒に遊んだりお話ししたりする中で、その時間だけでも寂しさや辛さを忘れて少しでも楽しかったと思ってくれたらいいなと思っています。少しでもこどもたちの役に立てたらいいなという気持ちですが、元気に遊んでいる姿を見ると、私も頑張らなきゃなと思うし、凄く元気をもらっています。楽しそうに笑っている姿を見ると私まで嬉しくなるし、ボランティアを始めて良かったなと強く思える瞬間でもあります。私ができる範囲の中で一緒に遊ぶことしかできませんが、今後も入院している子供たちの辛さを少しでも埋めることが出来ればいいなと思っています。



(肢体生活支援課 児童指導員 帯金より)

つばさの木でしていただいているボランティア活動は保育室で一緒に遊ぶことがメインです。初めてつばさの木に来ていただいたときは、こどもたちも「知らない人がやってきた」と心配そうでしたが、回を重ねるごとに隣に座ったり輪になって遊んだりすることが増えてきました。また後藤さんもはじめのうちの緊張や強張りが抜け、自然にこどもたちと接していたと感じます。入院を繰り返したご経験があるからこそ、こどもたちの思いを上手く汲み取ってもらえていると感じられました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## ぼぼんた通信 71 きくちゃん

娘と夫と「不思議の国のアリス展」に行ってきた。

横浜西口は電車に乗るために通るだけだし、高島屋デパートに入ったのは何年振りだろう。

まして、夫は何十年振りかもしれない。夫には、この「不思議の国のアリス展」は興味がなかったかもしれないと思ったが、意外にも楽しんでいたようだ。

‘お茶会‘の赤いイスにうさぎや青虫と一緒にちゃっかり座って満足そう。

ライトが当たり、撮影スポットだったので長時間座っているのは無理だが、、、、、、でも会場内でイスがあるのはここだけだ。

さて、このアリス展では‘目からうろこ‘がいっぱいだ。最も私の乏しい知識の中でのことだが。作者のルイス・キャロルは数学者であり、挿絵もしている。そしてこの本に挿絵や彩色をしている人が大勢いる事。あ～そうか だからアリスが着ている服はいろいろで、赤いドレスもあるんだな。私の脳裏には、空色のワンピースに白いエプロン、縞模様のハイソックスが定番だが。250点ものハガキサイズの原画を観てまわり、ちょっと疲れた。

遅い昼食はサンドイッチとアイスコーヒー。娘とおしゃべりして、2時ごろ別れた。

娘は今、絵本作りににはげんでいる。アリス展で何かヒントをもらえたかな？

## 5月イベント

月	火	水	木	金
		1	2	3
		(4西) SHJ15:00～ (4東) SOC 15:00 オンライン		
6	7	8	9	10
	(外来・こころの診療病棟) クラウン	(5南・4東) ぽぼんたお話し会 14:00	(肢体つばさの木) SOC10:15～オンライン	
13	14	15	16	17
ボランティア調整会議 14:00～15:00	(NICU・総合待合) 斎藤守也ピアノコンサート (肢体つばさの木・5西) 絵本カーニバル・絵本作り	(HCU2) タッピングタッチ 14:00～15:00 (5南) SHJ 15:00		11日(土) 重心ひだまり SOC オンライン・エリックさん
20	21	22	23	24
	(外来・4南) クラウン (ひだまり・総合待合) ひろちゃんとフラダンス	(4南・HCU2) ぽぼんたお話し会 (重心 13:30・肢体施設 15:00) 盲導犬と遊ぼう	(4東4南5南 クリーン) SOC15:00 オンライン	
27	28	29	30	31
				フライトシミュレーション (全セクション対象) 10:00～16:00

- ・毎週月火水金曜日 10:30～17:00 きょうだい 預かり(4月からは、月・火・水・金の週4日)
- ・毎週火曜日 10:45～11:15 高野さんとピアノ
- ・毎月2回 フラワーアレンジメント (4か所)
- ・毎週火・金曜日 重心作業
- ・第3水曜日 手芸
- ・第2・第3水曜日縫製活動
- ・月～金曜日 患者図書・外来
- ・第4木曜日 作業
- ・第2・第4火曜日 (他火曜日適宜) 園芸活動
- ・毎週火～金曜日 10:30～14:00 ピアサポート

5月8日(水) ミーティング (外来・ぽぼんた)

5月13日(月) ボランティア調整会議

6月1日(土) 季節飾り (七夕) ボランティア募集

6月10日(月) ボランティア運営会議

6月24日(月) ボランティア研修会



重心施設ひだまりプレイコーナー

4月24日神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏会が開催されとても優雅なひとときでした。ありがとうございました。

入所者、ご家族、職員、ボランティアなど40名以上の方が楽しみました。